

ライブラリー

2010. 10

(平成22年10月21日発行)



福崎町立図書館 としょかんだより No.32

福崎町西治360-1 TEL. 0790-22-3790
http://www.library.town.fukusaki.hyogo.jp/

『カミングズの詩を遊ぶ』

ヤリタミサコ・向山 守 編・訳(水声社 931.7 円)



単語を分割して新たな意味を付加したり、アルファベットを視覚的に利用したり。ぎりぎりまでそぎ落とされた美しさの中にも強い意志が感じられるカミングズの詩を、二人の編訳者が案内します。

活字
読む
だ

『透明人間の納屋』

島田 荘司 作(講談社 F 7)

「透明人間」というだけに、目次に見えにくい色の活字を使ったり青インクで書かれた手紙部分は青い活字だったり。体感的な楽しみがあるミステリー作品です。



あ
そ
い

『あの犬が好き』

シャロン・クリーチ 作
(偕成社 児童書 931 円)

詩は女の子のもの、と思っていた少年が、授業で詩にふれるうちに、いつのまにかとりこになっていきます。文字で「描かれた」詩が登場します。



『日本以外全部沈没』

筒井 康隆 作
(徳間書店 BF 7)

収録作品の一つ「デマ」は、ある出来事がどのように伝わり広まるか、4段組フローチャートの形式で描かれます。他に「バブリング創世記」「裏小倉」など、著者独自のパロディ世界が展開。

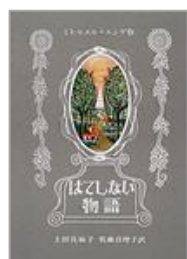


び
活字を視覚的にも
楽しめる本、
紹介します！

『はてしない物語』

ミヒャエル・エンデ 作
(岩波書店 児童書 943 円)

ドイツの児童文学者、エンデの代表作。主人公のバスチアンがさまよう「現実」と「物語」の二つの世界がそれぞれ違った色の活字で表現されています。装丁もストーリーと深い関わりを持つ仕掛けに。



『あなたが、いなかった、あなた』

平野 啓一郎 作(新潮社 F 7)

テキストが数パターンレイアウトで表現される「女の部屋」や、同じ台詞で同時にいくつものシチュエーションが並行して書かれる「母と子」など、9つの実験的な作品からなる短篇集。



図書館カレンダー

※ [] は休館日です。

11月

日	月	火	水	木	金	土
	[1]	2	3 えほんの じかん 11:00~	[4] 資料整理日	5	6
7	[8]	9	10	11	12	13
14	[15]	16	17	18	19	20 おはなし会 11:00~
21	[22]	23	24	25	26	27 読み聞かせ 講座① 映画会 14:00~
28	[29]	30				

12月

日	月	火	水	木	金	土
			1 えほんの じかん 11:00~	[2] 資料整理日	3	4 おたのしみ 会 14:00~
5	[6]	7	8	9	10	11
12	[13]	14	15	16	17	18 おはなし会 11:00~
19	[20]	21	22	23	24	25 読み聞かせ 講座② 映画会 14:00~
26	[27]	[28]	[29]	[30]	[31] 資料整理日	

第5回 図書館応援隊フェスタ

10月30日(土)
10:00~14:30



バザー、模擬店、喫茶、点字体験など
今年も盛りだくさんです!!

- 10:30~11:30 紙芝居、おはなしのとびらえほんのじかん
- 11:40~12:15 民話かたりべ
- 13:20~14:10 人形劇「おやこどんぶり」
・ずいずいずつころばし
・たぬきのぽんぽこぽーん
・3枚のおふだ



あかちゃんにはじめての絵本を ブックスタート

としょかん
こんなことも
しています

図書館では、10カ月健診に来られたあかちゃんに絵本を贈る「ブックスタート」を行っています。絵本をツールとして、あかちゃんとお母さんが向き合い、ゆっくり時間を過ごしてもらいたいという思いです。

絵本のほか、図書館には
こんな育児にまつわる本もありますよ!



「布おむつ&おむつなし子育て」 岸下 未樹



「てむすび」 瀬戸けいた・なおよ



「思い出に残る子どもの写真を撮る方法」 高濱正伸

こどものほん

えほん/1・2年生 3・4年生~ 5・6年生~



よるのおはなし

あき 秋もふかまり、よるがながくなってきました。
みんなはなにをしているかな?



「あかりをけて」
(アーサー・ガイサート 作)
まっくらなへやではこわくてねむれないわたし。そこで考えたびつくりアイデアは?



「よるのねこ」
(ダーロフ・イプカー 作)
いつみても、ねこはねむっているけれど..なまけものなの? いえいえ、そうではないのです。



「きのうの夜、おとうさんがおそく帰ったそのわけは..?」
(市川 宣子 作)
おそく帰ったそのわけは..? じつはおとうさんってスーパーマン!? 夜でもおいしいそがしなんです。



「よぞらをみあげて」
(ジョナサン・ビーン 作)
家族がねしずまったのに、めがぱっちりさえてしまう夜。そのとき、やさしい風がふいて..

ニュースの書棚

映像化小説を図書館で

9月にカナダ・モントリオール世界映画祭にて、日本から出品された「悪人」に出演した深津絵里さんが最優秀女優賞に選ばれ話題となりました。「悪人」は、2006年から朝日新聞にて連載された吉田修一の小説です。新しい本ではありませんが、この話題をきっかけに貸出予約が増えています。

この秋以降も小説が続々と映像化されます。10月公開の映画作品では、「雷桜」(宇江佐真理)「インシテミル」(米澤穂信)、「七瀬ふたたび」(筒井康隆)、など。また児童書からは「ガフルの伝説」(原題「ガフルの勇者たち」キャスリン・ラスキー)が映画化されました。いずれも話題の作品は棚に並ぶ間もなく借りられていることが多いので、見当たらない場合はカウンターでお問い合わせください。



図書館からお知らせ

利用カードの再発行について

図書館の利用カードを紛失される方が増えています。カードは再発行ができますが、再々発行になると有料となります。また回数を重ねますとペナルティとなり、貸出停止となる場合があります。利用カードが見当たらないときは、再発行の前に、もう一度よく探してみてください。ご協力よろしくお願いたします。

読み聞かせ講座 参加者募集

読み聞かせの基本的な技術、絵本の選び方などを勉強します。

日時: 11/26、12/24、1/28 (金曜日、3回連続講座)

10:00~12:00 メディアルームにて

★要予約 図書館へお申込みください!

